

フォトブックを作る

フォトブックは書店にある〇〇写真集のように本製版になっているもので、一般的には写真配置説明書きを全て自分でを行いプリントをインターネットで注文するものです。本の形になっていると写真の紛失がないだけでなく、写真への説明記述が容易ですから思い出がよりはっきりした形で残りますし、一冊作るのも十冊作るのも作成負荷は同じですから配布贈呈に適しています。

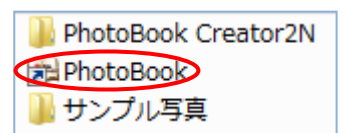
フォトブックに似た言葉にフォトアルバムがあり、フォトアルバムは自分で印刷して作るもの、フォトブックは専門会社にプリント依頼して作るものと区分しているのが一般的です。フォトブックは注文する仕上がり状態によりますが写真と同じ銀塩写真紙を使いプリントするものもあり、コピー印刷とは鮮明度耐久度が違いますので推薦出来るのはフォトブックです。また、装丁もしっかりしており一見豪華本のものまで色んなタイプを選べるのも魅力です。(自分で印刷するなら冊子印刷出来る Word が最適です)

フォトブック作成ソフトは各フィルムメーカー、プリントメーカーが無料で提供しており、どのメーカーのソフトでも使い易く使い方は似ていますから、アルバムのタイプやプリント価格からどのソフトを使うか決めると良いと思います。

本講座では「マイアルバム フォトブック クリエーター2/N」で説明を行いますが、選定理由はインストールなしでも使える唯一のソフトだからに過ぎません。尚、各社のどのソフトでも WindowsXP&Vista 以外の機種では動作保証しておらず、且つこのソフトの場合メモリ 512MB 以上(Vista1GB)、HD200MB 以上の空きが動作環境になっています。

1. 表紙に写真を入れる

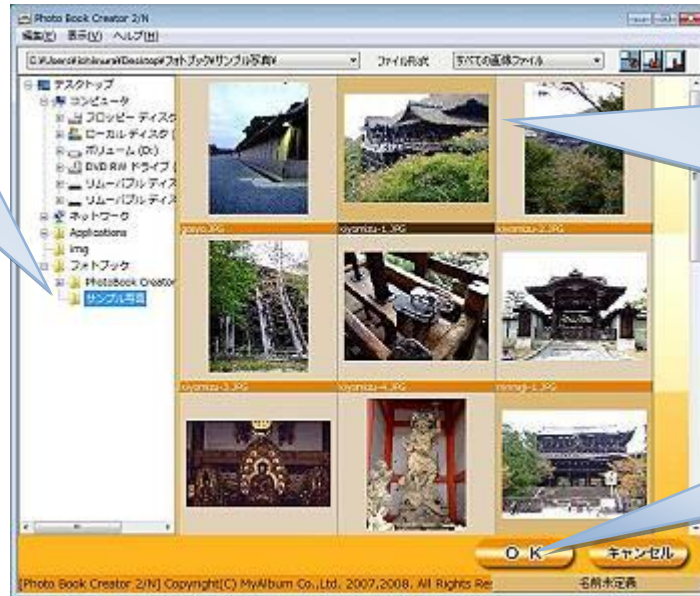
- 1) デスクトップ上にある「フォトブック」を開き「PhotoBook」をダブルクリックで開く
- 2) 表紙・裏表紙の文字が見える状態で「画像の追加」をクリックする



- 3) 左側のツリー階層から写真が入っている場所を開く。講座ではデスクトップのフォトブックの中の「サンプル写真」を開く

フォルダ頭の田字をクリックすると□になり下層フォルダが表示される。

フォトブックの下層のサンプル写真を選ぶ



表示された写真の中から挿入したい写真を選ぶ。

クリックで選択、再クリックで解除、複数選択可能。

OKをクリックすると裏表紙・表紙に写真が入る

2. 写真を拡大し移動する

選んだ2枚の写真が重なった状態で挿入されている。

移動する写真をクリックして、表紙位置までドラッグする



四隅四角をクリック&ドラッグで拡大縮小。どんな動かし方をしても縦横比率が変わることはない。



このボタンでも拡大縮小、回転可能。

不要な写真はこのボタンで削除。

3. 表紙・背表紙にアルバム名を入れる

① 「お絵かき」タブをクリック

② 変化した画面の「文字」をクリック



③ フォントを選び

④ フォント色を選び

⑤ 文字を入力する

⑥ 入力文字はこの暫定枠に表示される
表紙の場合は表紙までドラッグする

⑦ 背表紙の場合はこのボタンをクリック
文字サイズ自動調整

⑧ 文字飾りを選び

⑨ 文字追加ボタン

仕上がり例-----背景やイラストを入れてみました



4. 作成状態を保存する

メニューの保存ボタンを押して、名前を付け、ファイルの種類を「アルバムデータ・拡張子 mya」で保存する。この形式で保存したものは開くボタンから開き何時でも追加修正が可能です。



5. 写真を入れる

① 1-2 をクリック

② 配置ひな型をクリック
「このテンプレートを使用します、このページの画像は破棄されます。よろしいですか？」 はいをクリック

③ 画像の追加をクリック

「ひな型」は23種類、ここのスライダーを動かす



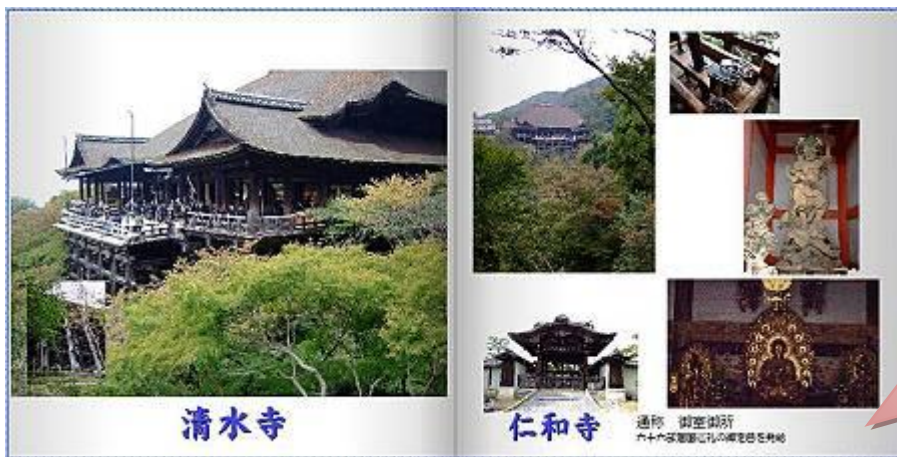
⑤ 選んだ写真がひな型に自動挿入される
一枚ずつ選んだ場合は左枠から順に挿入される

写真を大きく表示して見るときはマウスのローラーを上に戻す

ひな型の枠を消す場合にクリック、「**テンプレート破棄**」メッセージに**はい**をクリック



「ひな型」と言ってもこれは挿入&配置を容易にした暫定的なものであり、ドラッグ&ドロップで自由に位置替え、そして、大きさを変えることができます。不要な写真は削除して枚数を変えることも自由です。

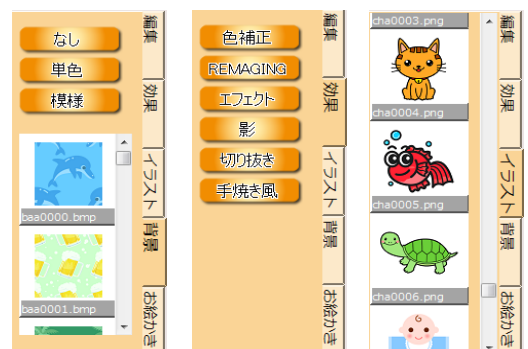


- 影
- 斜体
- 太字
- 縦書き
- 縦横比

文字サイズ指定機能がなく詳細不明ですが、長い文章特に2段書きになる場合は「縦横比」にチェック次に文字後部への空白文字挿入することで文字サイズを小さく表示させることができる

6. 背景・効果・イラストを入れる

背景は開いている両ページ単位、効果は写真単位、イラストは任意の位置へ入れることができます。それぞれのタブそしてボタンをクリックして試して見ましょう。いずれもキャンセルボタンで取り消すことができます。





1枚の写真を見開きにすることも可能です。そのためサンプル写真のサイズは大きいまま(2848*2136)にしています。残りのページは繰り返し作業ですから写真を入れる説明はこれで終了です。

7. プリント注文

[写真集を注文](#) ボタンをクリックして必要事項を記入するだけなので、手順は割愛し、インターネットショッピング未経験者のために一般的注意事項を説明します。尚、プリント注文のための送信時間は接続環境とフォトブック容量によりますが1時間以上かかることもあります。

1) 支払い方法はメーカーによって異なる

種類	手数料	支払時期	備考
クレジットカード	なし	カード規定	カード番号記入必要
銀行振込み	振込み手数料	事前	ATM もしくはネットバンク
代金引換	代引き手数料	原物引替え	安心だが手数料が一番高い
コンビニ振込み	普通は手数料あり	事前 or 事後	採用していないメーカーあり

- 2) 金額比較は、代金+手数料+送料の合計金額で比較する。フォトブックに関してはどこでも送料が必要ですが、他の商品では送料込み表示が結構ある。
- 3) フリーメールアドレスでは受け付けてくれないことがある（フリーメールアドレスは際限なく入手出来るものなので信用出来ない）
- 4) 価格ドットコムで最安値を調べる。平均価格の下降上昇傾向グラフも確認する。
- 5) 各種のメーカー宣伝メール配信希望有無を確認する項目があり、大抵はチェックが入っているので、外さないと定期的にメールが入ります。

8. 印刷する

この種のソフトで印刷機能が付いているのは珍しいのですが、印刷を主目的にしているものではないので特徴とクセを理解しておく必要があります。

- ◆印刷解像度が低く粒子が粗い
- ◆見開き状態を1枚の写真とする形で印刷対応となることから、冊子印刷不可

- ◆両面印刷するためにはパズルのような組合せ写真配置を必要とし実質困難
- ◆このフォトブックは仕上がりが四角い形であることから、A4に印刷すると上下に空きスペースが出来る
- ◆背表紙を設けるような製本は素人には出来ないので、背表紙タイトルは無駄になる

<印刷手順>

- ◆ファイル[メニュー]→印刷

① 印刷設定をクリック

② プリンタを確認し、プロパティをクリック

③ ▼をクリックして印刷紙の種類を選ぶ

④ ページ設定をクリック

⑤ A4横をクリック

⑥ 等倍印刷を選ぶ

⑦ OK
⑧ プリンタの設定もOK



9. 主なフォトブックサイト

- ◆カメラのキタムラ <http://www.mybook.co.jp/>
- ◆コダック <http://www.jp.kodak.com/JP/ja/consumer/photobook/index.shtml>
- ◆富士フィルム <http://f-photobook.jp/index.html>
- ◆キャノン http://www.imagegateway.net/st/pbk/make/quick_guide.html
- ◆マイアルバム（本手順書） <http://www.photocreator.jp/p-book/>